

# チャレンジ

～ BLUE POWER ～

大和市立つきみ野中学校  
第2学年 学年だより第4号  
平成31年4月18日発行

## \*作文『2年生になって』～決意や抱負～の第2弾です\*

先週の学活で「2年生になって」という題名で作文を書きました。2年生になって挑戦したいことや改善していきたい決意が感じられます。ぜひお読みください。

### 『2年生になって』 3組 生徒

私は2年生になって、3つのがんばりたいことがあります。

1つ目は勉強です。2年生になると成績が進路に関わってくるので1学期からがんばっていききたいです。去年は、中間テスト、期末テストがあってもちゃんと計画を立てることができなかつたり、たてられても実行することができなかつたりして、効率よく勉強することができず点数の変化が激しかったので直していききたいと思っています。

2つ目は部活動です。私が所属しているボランティア部は週2日で1回30分というとても短い時間しか活動しません。主な活動は清掃です。去年は、部活を無断欠席したり、遅刻してしまったり、ちゃんとしたとしてもダラダラと取り組んでしまったりしたので、今年は欠席なしできちんと取り組んでいききたいと思っています。

3つ目は委員会です。去年からつづけて中央委員会に所属することになりました。去年、中央委員になったからできた事、経験がたくさんありました。今年はキャンプで始まって後期も中央になり修学旅行までやっていききたいと思っています。

勉強と部活と委員会どれも全力でがんばりいろいろな経験をして、それを糧に成長していききたいです。

### 『2年生になって』 3組 生徒

一年生のころは、勉強がぜんぜんできなくてずっとおいてかかれていました。中央委員もやっていて、大変な事の方が多かったけどものすごくやりがいを感じました。中央委員としての仕事はよくできたと思うのですが、自分からこうしたいなど積極的にはできていなかった。二年生からは、勉強にもすごく力をいれて自分の行きたい高校にも行けるように努力しようと思いました。

今回も中央委員になったので委員会としての仕事はもちろん、今、クラスに必要なことは何か？と考えていろいろなことを提案したりして最高のクラスにします。絶対。

部活では一年生が入ってきて教えることがたくさんあるので大変で、そのうえで先輩達を支える事もむずかしい。後輩を引っ張って先輩を支える大変な一年間になると思いました。でも、一年生のころに学んだ事を活かして、キャンプなどの行事を大成功といえるまでがんばろうと思います。



## 「二年生になって」 4組 生徒

「二年生。」たったその三文字が新鮮でドキドキしていた。でも、クラス名簿を見ると仲の良い子が少なく不安がつのってきた。だが、みんな優しくてすぐ友達もできて安心した。とてもこのクラスは楽しそうなので、充実した一年になればいいなと思った。

二年生でがんばりたいことは、勉強だ。なぜなら、二年生は受験に関わる大事な時期だからだ。それと、三年生に向けて毎日勉強するクセをつけたいからだ。一年生の時は、ただ単にテスト期間だけ勉強していた。だが、最後の方のテストで、「悔しい」という気持ちが芽生えた。「もっと勉強していれば…」と思ったので、二年生こそは、そんな後悔をしたくないので「毎日勉強する」という目標を胸にがんばりたい。

「一年生」という言葉が新鮮だった時が、つい最近のように感じるけれど、いつの間にかその文字がなじんでいた。まだなれない「二年生」、一年生の良きお手本になれるようになりたい。

## 「二年生になって」 4組 生徒

ちょっと前まではまだ一年生だった僕は、二年生になったんだという、はっきりとした実感はまだわからない。しかし、二年生になって、やっていきたいことがある。それは、全力で取り組み、やりとおすということだ。二年生は一年生より、やらなくてはいけないことが多く、大変だろう。しかし大変なことをやりとおすことで、一年生のときより大きな達成感や、やりがいを感じられると思う。僕はこの一年間を、大変だったけど、充実した楽しい一年間だったと最後の日に言えるような一年にしたい。



最後に、二年生になったら、後輩という大きな存在ができる。僕が一年生の時、わからないことが多く、困ったときがあった。そんな経験を生かして、困っている後輩がいたら助けてあげられるような頼れる先輩でありたい。

一年生で、学んだことを二年生で生かし、一年生のときより充実した楽しい一年になるようにしたい。

## 『二年生になって』 5組 生徒

このつきみ野中学校に入学してから、早一年が過ぎ、気がついたら私はもう二年生になっていた。正直今でもまだ自分が二年生だと言う事に実感がわかず、部活動の仮入部中に、一年生に「先輩」とよばれると、自分の立場が分からず混乱してしまい、本当は先輩らしい、かっこいい姿を見せたかったが、一発目から恥をかいってしまった。慣れるのには時間がかかりそうだが、あこがれの先輩方のようになれるよう、頑張ろうと思う。

私は、毎年自分の目標を決め、達成できるよう日々自分なりに努力している。はじめから大きな目標を立てるのではなく、小さなものからコツコツ達成していき、理想の自分に磨き上げていく、これが私のやり方だ。

今年の目標は、『後輩が憧れるような立派な先輩になる』事。

そのためには、何が必要だろうか。



最初に思い浮かんだのは、「あいさつ」。人一倍明るく元気に挨拶ができればみなも真似して、より雰囲気もよくなるし、できた方がかっこいいと思う。少ししか考えられてはいないが、思ったら、すぐ行動、早速今日から『明るく元気にあいさつ』を始めようと思う。

まだ二年生生活は、始まったばかり。難しく大変な事があるかもしれないけど、その時はまた、小さな事から始め、乗り越えていこうと思う。

## 『二年生になって』 5組 生徒

始業式当日の朝、起きたとたん不安感に襲われたがそれと同時にワクワク感がこみ上げてきた。学校へ行きクラス発表を待つ間、ふと周りを見ると、まだまだ名前も知らない人がたくさんいた。一年の時のクラスメイトと同じになるのが三～四人でバド部が二～三人。最低でも五人ぐらいしか知り合いがないかもしれない事をずっと考えていた。不安でしょうがなかった。

そんな中クラス発表がされ紙をもらい五組の教室へ友達と向かう。さいわいにもその友達とは仲が良かった。だが、教室に入り自分の席に座って周りを見ると、やっぱり知らない人だらけ。出も朝あった不安感がなくなっていた。よく分からないが多分ワクワク感に負けたのだろうと思った。これからこのクラスでキャンプに行くのだという事を考えると、ワクワクが止まらない気がした。そして僕はこのクラスを気に入った。

## 『二年生になって』 6組 生徒

中学に入学してから一年がたちとうとう二年生になりました。まだ実感がないけど緑色のジャージを着た一年生を見て少しだけ二年生になった実感がわきました。一年生の時は、何もかもが初めてで慣れないことばかりだったので、今になってだんだん「中学生」がどんなものなのか分かった気がします。

私は二年生になって楽しみなことがたくさんあります。まず行事です。新しいこのクラスがもっと仲良くなれると思うとワクワクします。キャンプや運動会、合唱コンクールなど辛い事や大変な事あると思いますが、それ以上にこのクラスならうれしい事や楽しい事がたくさんあると思います。そしてもう一つ楽しみな事があります。部活です。私はボランティア部に入っています。他の部活に比べたら活動日数が少なく学校外で習い事などをやっている人が多く入っている部活です。まだ一年生が入ってくるか分かりませんが、一年生に誇れるような活動ができるように頑張りたいと思います。そしてもっと学校を良くできるような活動をしていってたくさんの人に認めてもらえるように頑張っていきたいです。

何より新しいこの二年六組がどんなクラスになるのかとても楽しみです。クラスのみんなが安心して居られるクラスになると良いなと思います。最高のクラスになるように何事も全力で楽しみたいです。

## 『二年生になって』 6組 生徒

私は二年生になり新しく目標ができました。それは『周りの人を助ける』ということです。



私は一年生になったばかりの頃、知らない同級生や先生がたくさんいて不安と緊張が一杯で人の事を考える事ができませんでした。だから二年生は、一年生で出来なかったことをチャレンジし、成長していきたいと思っています。

特に、二年生はキャンプという大きな行事があります。中学校のキャンプは小学校のキャンプと違うところがあります。それは、自分たちで作り上げる、ということです。一年

間中学生の学校生活を送り、私たち青学年は助け合うことがたくさんできました。運動会や文化発表会、体育祭など様々な行事で、助け合い、協力してきました。これらの力を使えば、二年生のキャンプを最高にするのは簡単だと思います。

一年生でできなかったことを二年生でできるようにしていく。これは、キャンプだけでなく全ての行事にも良いことだと思います。そして、三年生の修学旅行にもつながると思います。

日々、様々な場面で努力をしていき、三年生で卒業するときに悔いが残らないように、二年生の今、できることをやるだけやり、過去のことは反省し今と未来につなげていきたいと思っています。

## 『二年生になって』

7組 生徒

中学生になって一年がたった。次は先輩でも後輩でもある二年生。たくさん大変な事や辛い事があると思うが、その分うれしい事や幸せな事がたくさんあると思う。二年七組になった今、新しい仲間との一年間が始まったと考えるととてもワクワクする。

私は二年七組になって、やりたい事がある。それは少しでもクラスの人のために青学年のために、色々な行事に協力する事だ。一年生の頃は少ししかできなかったのが、今年はたくさんできるように頑張りたい。

この一年間では、部活の中心が自分たちになったり、勉強では受験に関わってくるから一年生の時よりも何事にも意識を高く持っていかないといけないんだなと改めて思った。部活では、初めての後輩ができて、三年生の最後の大会でのサポート、自分たちが中心となっていく部活動などたくさん大事な事があると思う。その中で少しずつその環境に慣れる事が大切だと思う。

私は二年生という自覚を持って一年生の時に学んだ事を生かして、私の一年間の生活目標「行動を早くする」という事を意識して頑張りたい。友達とも、仲良く笑顔がたくさんできるように仲良くしたい。女子とはもちろん、運動会やキャンプで、様々な行事で関わるので、いつでも気軽に話しかけられる、かけられるような関係になりたい。男子とも、隣の席になったり、同じ班になったりした時や、クラスの行事、学年の行事などで、明るく話せるようになりたい。

常にクラスのために、学年のために、自分のためにも何をすれば良いのかを考えて役に立てるように頑張りたい。他のクラスの人との交流もたくさんして、学年全体の仲も深めていけたらと思う。

## 『二年生になって』

7組 生徒

ついこの間まで一年だった僕がつい二年生になってしまった。ともに進級した部活仲間や友達とほぼ毎日顔を見合らし日々を過ごしていたのが原因か、それともジャージの色が一年生の時と一緒なのが原因なのか、自分でもよく分かっていないが僕は、まだ「二年生の自覚」というのが実っていない。このままだと心があやふやのまま時だけが流れ、勉強にも部活にも心から打ち込めなくなってしまうかもしれない。そこで僕は一つ

自分に対しての目標を掲げる事にした。それは「悔いが少ない毎日を過ごす」だ。なぜ、「悔いが残らない」ではなく「悔いが少ない」にしたのかというと、悔いが少ない日など毎日は絶対に続かないからだ。だから僕は「悔いが残らない」ではなく「悔いが少ない」にした。この方が今日勉強しなかったら明日、明後日、いや、もっともっと先まで今日の悔いは心の中で残り続けると思うとどこからか力強いやる気がわいてくる。これが日常的にできるようになれば自立した立派な人になれる

と思う。けれどそこまでの道のりは決して楽なものではない。時には悔いが多く残ってしまう人もある。その日を悔いに思う事も、とても大切な事だが、いつまでも悔いに思っても心が重くなるだけなので、逆に悔いの残ってしまった出来事などを糧に前向きに毎日を過ごしていくのも大切なかもしれない。できなかったことを取り返そうと日々努力する、こういう生き方も悪くない。

この目標が達成させるように、周りの人に認められる自立した立派な人になれるように努力の道を今日も一歩ずつ歩いていく。僕は思う、人は生きていく限り、この道は外れてはいけない、と。

---

※学校へのご意見・ご感想等がありましたら、切り取って担任に提出してください。

組 保護者氏名

---